

# 東北地方 1か月予報

(1月15日から2月14日までの天候見通し)

平成17年1月14日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう1か月の天候>

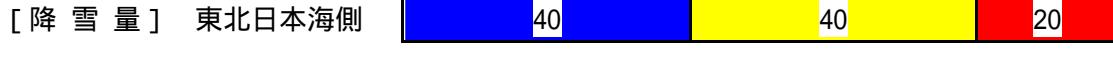
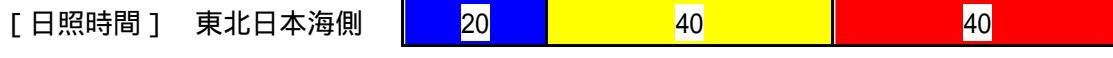
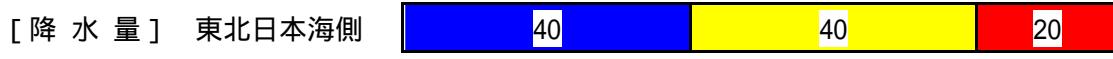
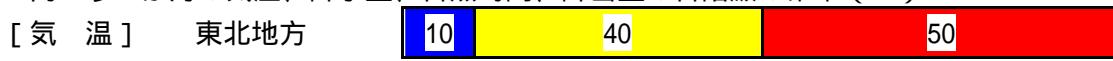
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

冬型の気圧配置は長続きせず、東北太平洋側では低気圧の影響を受け易いでしょう。平年に比べ、東北日本海側は曇りや雪の日が少なく、東北太平洋側は晴れの日が少ない見込みです。

向こう1か月の平均気温は高い、降水量は東北日本海側で平年並か少なく、東北太平洋側で平年並が多い、日照時間は東北日本海側で平年並が多く、東北太平洋側で平年並か少ない、東北日本海側の降雪量は平年並か少ないでしょう。

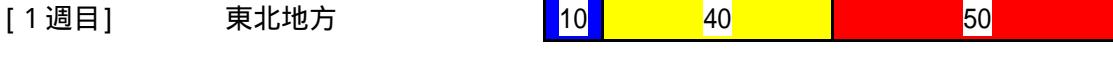
週別の気温は、1週目は高い、2週目は平年並か高い、3~4週目は平年並か高いでしょう。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 1月15日(土) ~ 2月14日(月)

1週目 : 1月15日(土) ~ 1月21日(金)

2週目 : 1月22日(土) ~ 1月28日(金)

3~4週目 : 1月29日(土) ~ 2月11日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は1月21日

3か月予報:1月25日(火) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	降雪量(cm)	気温( )		
					1週目	2週目	3~4週目
大船渡	0.4	50.0	155.7	28	0.5	0.1	0.3
新庄	-1.5	172.5	49.1		-1.5	-1.7	-1.5
若松	-0.9	75.5	93.5	136	-0.9	-1.1	-1.0
深浦	-0.8	86.6	38.5		-0.5	-1.0	-0.9
青森	-1.7	145.1	65.4	284	-1.5	-2.0	-1.8
むつ	-2.0	91.9	85.8		-1.7	-2.1	-2.1
八戸	-1.5	55.2	139.9	52	-1.3	-1.7	-1.6
秋田	-0.4	104.1	55.2	101	-0.2	-0.6	-0.4
盛岡	-2.3	52.2	135.0	62	-2.3	-2.6	-2.4
宮古	-0.2	68.4	168.8	41	0.1	-0.4	-0.3
酒田	1.0	137.5	48.4	85	1.2	0.9	1.0
山形	-0.8	74.4	97.7	115	-0.7	-1.0	-0.8
仙台	1.2	38.6	162.2	28	1.3	1.0	1.1
石巻	0.3	37.9	177.4		0.4	0.0	0.2
福島	1.2	45.8	150.6	46	1.3	1.0	1.2
白河	-0.1	30.5	169.7		0.0	-0.3	-0.1
小名浜	3.2	51.7	196.6	0	3.4	3.1	3.2

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.8	74~111	95~106	82~106
東北日本海側	-0.4~+0.7	89~105	91~111	83~115
東北太平洋側	-0.4~+0.8	63~113	97~104	73~108

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7~+0.9	-0.7~+0.9	-0.5~+0.7
東北日本海側	-0.7~+0.9	-0.6~+0.9	-0.5~+0.7
東北太平洋側	-0.7~+0.9	-0.7~+1.0	-0.5~+0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。

階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成17年1月14日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

### 向こう1か月(1月15日~2月14日):

冬型の気圧配置は長続きせず、東北太平洋側では低気圧の影響を受け易いでしょう。平年に比べ、東北日本海側は曇りや雪の日が少なく、東北太平洋側は晴れの日が少ない見込みです。

平均気温は高いでしょう。

### 1週目(1月15日~1月21日):

気圧の谷や寒気の影響で曇りや雪の日が多いでしょう。明日(15日)から17日は三陸沖に進む低気圧の影響でまとまった雪が降り、荒れた天気となるおそれがあります。その後は、冬型の気圧配置の日が多い見込みです。

平均気温は高いでしょう。

### 2週目(1月22日~1月28日):

冬型の気圧配置は長続きせず、東北太平洋側では低気圧の影響を受け易いでしょう。平年に比べ、東北日本海側は曇りや雪の日が少なく、東北太平洋側は晴れの日が少ない見込みです。

平均気温は平年並か高いでしょう。

### 3~4週目(1月29日~2月11日):

冬型の気圧配置が続くでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並か高いでしょう。

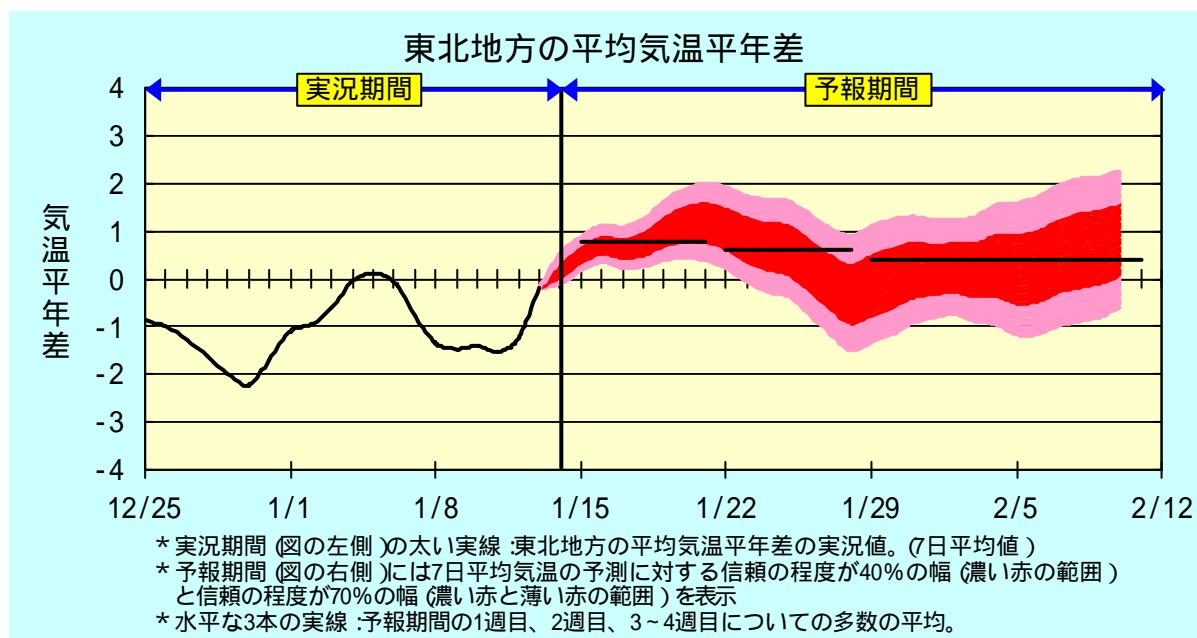
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	5.2日	1.3日	1.3日	2.6日
東北太平洋側	18.3日	4.5日	4.6日	9.2日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目共に「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から1週目を「高い」、2週目、3~4週目共に「平年並か高い」とする。

なお、数値予報の信頼度は大きい。

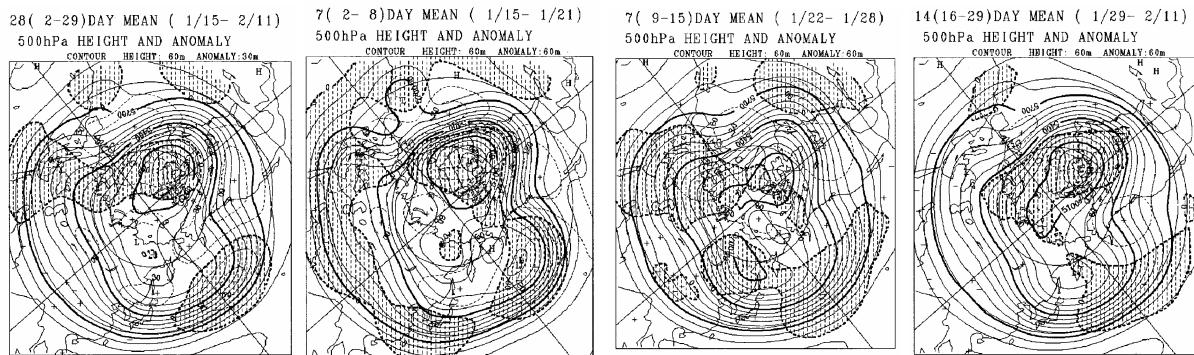


### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

#### 500hPa 高度と偏差：

月平均では、極渦は西半球側に偏る。極東域は、日付変更線付近に負偏差が広がるが正偏差に覆われ、特にサハリンから北海道は強い正偏差。偏西風の流れは東西風が卓越し、強い寒気の南下は長続きしない。

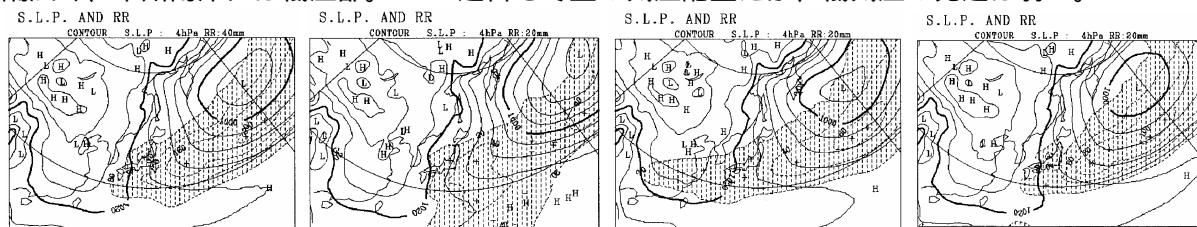
1週目は、関東以南が負偏差となるが、北日本は正偏差に覆われる。2週目は、1週目と大きく変わって日本の北が負偏差となり、日本以南は正偏差に覆われる。3~4週目は、日付変更線付近が負偏差、大陸から日本付近にかけ広く正偏差に覆われる。



#### 地上気圧と降水量：

月平均では、日本付近は冬型の気圧配置だが、低気圧の位置は平年より東で、日本付近の等圧線の間隔は広い。また、本州南岸は低圧部となっており、まとまった降水域が予想される。

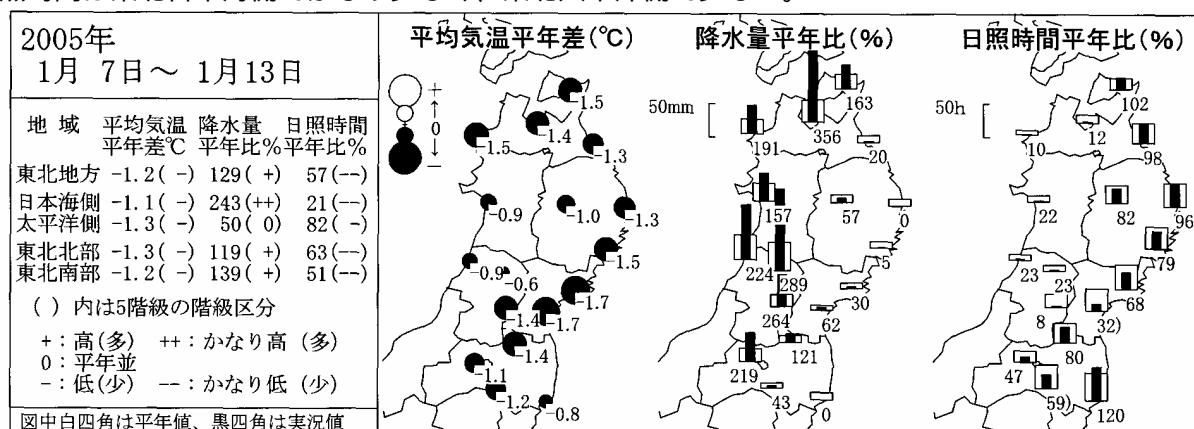
1週目は、本州南岸の低圧部がもっとも顕著となる。2週目も冬型の気圧配置だが、等圧線の間隔広く、本州南岸には低圧部。3~4週目も冬型の気圧配置だが、低気圧の発達は弱い。



### 4. 最近1週間（1月7日～1月13日）の天候の経過

この期間、上空に強い寒気が入って冬型の気圧配置が続き、東北日本海側を中心に雪となり、大雪となる日もあった。

平均気温は東北地方で低い。降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）